

令和5年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

24 山形県立米沢商業高等学校

学校教育目標	校訓「至誠」と「進取」のもと、変化する社会に柔軟に対応できる力を育むとともに、社会に有為なビジネスリーダーの育成に努める。	教育方針	① いのちをつなぐ人づくり ・自己を大切にし、利他の精神を持つ人を育てる
重点目標	① 明るく楽しく元気な学校 ② 高いレベルの資格取得と文武両道の実践 ③ キャリア教育の更なる充実 ④ 地域から応援される学校 ⑤ 伝統と歴史を繋ぐ統合の準備 ⑥ 選ばれる学校		② 学びを生かす人づくり ・主体的に・協働的に課題を解決し、新たな価値を創造する人を育てる ③ 地域をつくる人づくり ・郷土を愛し、地域とつながり続け、地域の未来をつくる人を育てる

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自 己 評 価						学校関係者評価	総括
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各学科の特色ある教育課程を適切に運用する。 生徒一人ひとりの良さを評価しながら、主体的に学ぶ意欲や態度等様々な能力を育てる。 毎日の授業を大切にし、「わかる・力がつく・楽しい」授業づくりを研究し実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時数の確保に努めながら、新教育課程に基づいた授業を展開した。 ICTを活用した多彩な授業形態について研修を進め、教室プロジェクト、タブレット、一人一台PCを活用した授業展開を行った。 目標や課題を明確にしながらシラバスに基づいた授業を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 米工との統合を見据えて教務内規の見直しや教育課程の改訂を図った。 ICT機器を活用した新たな授業展開ができるよう教員のスキルアップ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内すべての中学校訪問を実施したことやSNS等を効果的に活用したPRは選ばれる学校につながる。 「学校が楽しい」「入学したい」という数が他校に比べて突出している。今後も継続してほしい。 	<p>○コロナ禍後、例年に近い教育活動ができた。部活動や生徒会行事が例年通り実施できたことは大きな進歩であった。また、昨年度一人一台PCが整備され、ICTを活用した授業展開を効果的に行うことができた。来年度も、更に効果的な学校行事で活用や授業展開を目指す。</p> <p>○令和7年度に迫った米沢鶴城高校開校に向けて、より一層米沢工業高校との連携が必要である。令和6年度は互いの閉校式典、改築・移転などを滞りなく進めていきたい。</p>
2	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> お互いを尊重し、いじめのない人間関係づくりを目指す。 自らの服装、マナー、言葉遣いに気をつけ、気づかせ、自律的社会性を身に付けさせる。 生徒会活動や部活動を奨励し、リーダーとしての資質を育成する。 地域とのつながりを大切にし、地域に貢献しようとする心を育む 食事・生活習慣の確立を推進し、心身共に健康で規則正しい生活を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「年度初めに、全校生へ」のプリントで学校のルールを説明し、教職員・生徒間の共通理解ができ、今年度は問題行動が非常に少なかった。 服装指導は徹底できなかつた。 いじめアンケートを2回実施。早期に対応した。 学期毎の服装検査の他に衣替のタイミングで生徒昇降口に立ち指導を行った。 全体的には部活動も生徒会活動も活発的に行われ、特に久しぶりに一般公開された鶴城祭は大成功であった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> SC機会を増やし生徒が相談しやすい環境を作りたい。 部活動で目標を見失ったり、転部したりする生徒のフォロー 服装指導の徹底に向けて、全体で服装等の指導をしっかりする必要がある。年度初めに加え、6月、10月、2・3学期始めにも服装検査を入れ、予防的な効果を期待したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな問題行動もなく生徒指導がきめ細やかに行われている。 コロナ禍後も生徒の安全、安心に配慮しながら各種学校行事や部活動が行われた。 センシティブな対応が求められる時代にあつて、教育の本質は変わっていないことを認識して生徒指導にあたつてほしい。 	
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の進路指導計画に基づき、勤労観・職業観に基づく進路意識を持たせ、自ら学ぶ意欲と態度を育てる。 キャリア教育の視点に立ち、計画的・組織的な進路指導を実施し、個々の進路実現に努める。 適格な進路を選択し、自己の進路目標を実現する力を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> 本校で実施した合同企業説明会やワクワワーク通して職業観を醸成することができた。 進路の手引きやキャリアパスポートを活用して個の活動状況を振り返ることで、進路意識を高揚させることができた。 3年生全員の進路を確定することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も米沢工業と連携したキャリア教育を進めていく。 進路実現には日々の授業やカリキュラムに沿った検定取得やプレゼン能力の向上必須。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階を踏んだ進路指導になっている。地域企業のご協力や大原簿記学校との連携により更に深まりが期待できるものである。 	
自己評価及び学校関係者評価の改善点等		<ul style="list-style-type: none"> 外部講師の派遣や地元企業からの協力など学校外の教育資源を効果的に利活用し、魅力ある学校づくりに取り組んできた。特にキャリア教育については先進的な企画を行っている。今後も米沢工業高校との統合を見据えて連携した取り組みを行ってきたい。 学校の教育活動についての情報発信に努めた。特に毎日投稿したInstagramや更新したホームページは高く評価され、在校生はもちろん保護者、地域、中学生に対して米商をPRできた。さらに魅力的な教育活動の充実を図りながら県内一の情報発信を目指す。 					